

# 第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名:東京都 建設局 道路建設部

事業の名称:東急目蒲線(目黒～洗足駅付近間)

連続立体交差事業

実施都市名:東京都

## 事業目的

東急目蒲線(現目黒線)を立体化することにより、踏切を除却し、慢性的な交通渋滞の解消を図るとともに、分断された市街地の一体化による沿線まちづくりの促進を図る事業である。

その実施にあたっては、東京都、地元区である品川区、目黒区、鉄道事業者である東京急行電鉄株式会社が相互に連携して事業を進めた。

## 事業概要

事業名:東急目蒲線(目黒～洗足駅付近間)  
連続立体交差事業

路線名:補助第26号線ほか17箇所

事業箇所:品川区西五反田三丁目～目黒区洗足二丁目

事業延長:約2.8km

幅員:都市計画道路は計画幅員、ほかは現有幅員

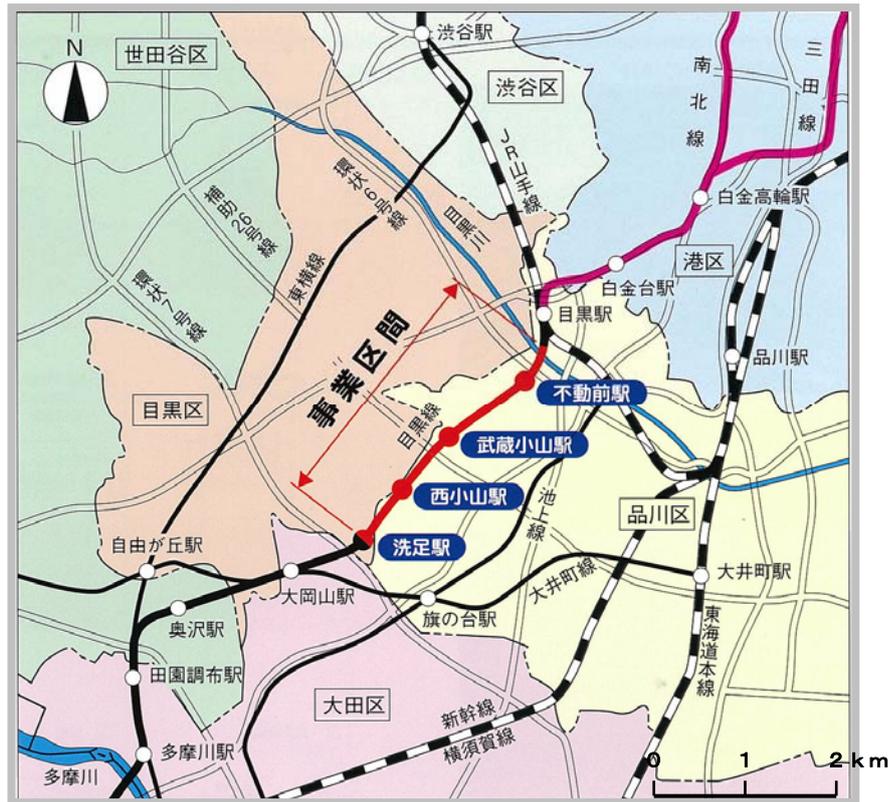
総事業費:約873億円

事業期間:平成7年度～平成20年度

本事業は、東急目黒線の目黒駅付近から洗足駅付近までの約2.8kmの区間において鉄道を立体化することにより、18箇所の踏切を除却する事業であり、平成7年9月に事業認可を取得し、平成18年7月に立体化が完成し、全ての踏切を除却した。引き続き整備を進め、平成21年3月に事業が完了した。

東急目蒲線は、平成12年9月に東京メトロ南北線、都営地下鉄三田線および平成13年3月から埼玉高速鉄道と相互直通運転を開始しており、踏切除却による安全確保のため本事業の完成が急がれていた。

# 事業位置図



## 全体図(平面図・側面図・横断面図)

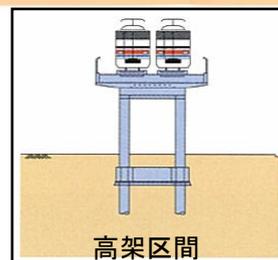
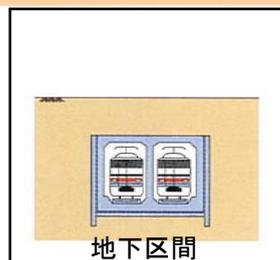
平面図



縦断面図



断面図



# 東急目蒲線立体交差事業の整備効果アピール資料

## ○事業概要

事業名: 東急目蒲線(目黒～洗足駅付近間)  
連続立体交差事業

路線名: 補助第26号線ほか17箇所

事業箇所: 品川区西五反田三丁目  
～目黒区洗足二丁目

事業延長: 約2.8km

幅員: 都市計画道路は計画幅員、  
ほかは現有幅員

総事業費: 約873億円

事業期間: 平成7年度～平成20年度

## ○補助第26号線と東急目蒲線のボトルネック踏切を除却

・ピーク時の1時間当たり 36分  
最大遮断時間

・1日遮断時間 約7時間  
(ボトルネック踏切)

・1日当たり交通量 約11,000台

## ○上部空間の有効利用

鉄道を立体化後の空間を緑道として整備し、憩いの空間創出と避難路として防災機能も兼備

## ○補助第26号線と東急目蒲線のボトルネック踏切を除却



## ○上部空間の有効利用(鉄道跡地に整備された緑道)



# 事業前写真

平成7年10月撮影



武蔵小山駅付近

平成7年10月撮影



武蔵小山駅北側付近

平成7年10月撮影



不動前駅付近

# 事業後写真

平成21年3月撮影



武蔵小山駅付近

平成21年3月撮影

平成15年2月撮影



武蔵小山駅北側付近



不動前駅付近